

第107期 報告書

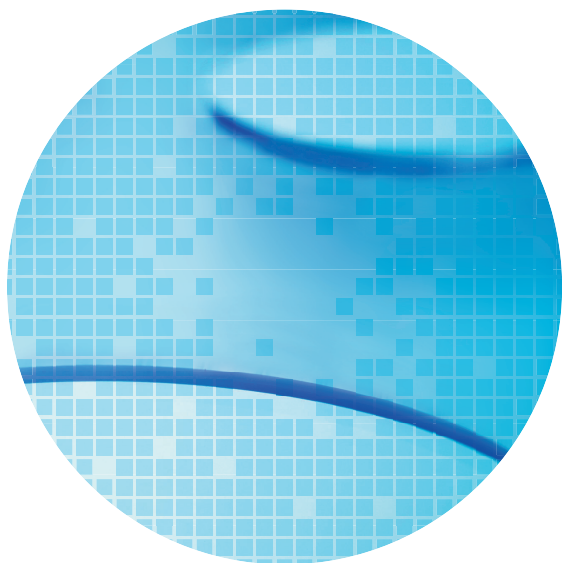
[平成18年4月1日～平成19年3月31日]

Chemical Products

Laminated Sheets

Building and Housing Materials

Electronics



CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 企業活動のご案内	5
■ 財務情報	7
連結決算	
連結貸借対照表／連結キャッシュ・フロー計算書	
連結損益計算書／連結株主資本等変動計算書	
単独決算	
貸借対照表／損益計算書	
株主資本等変動計算書	
■ 会社の概要	11
■ 株式の状況	13
■ 株主メモ	14

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

素素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第107期(自平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資は増加し、雇用や所得環境の改善により個人消費も増加基調となるなど景気拡大が続きました。

住宅市場におきましては、金利先高感や地価の下げ止まり、個人所得の改善や団塊ジュニア世代の住宅取得が下支えとなり住宅着工件数は底堅く推移いたしました。非住宅市場におきましては、好調な企業業績を背景に民間投資は堅調に推移いたしました。公共投資は依然厳しい状況が続きました。

このような経営環境にありまして当社グループは、環境配慮型商品やニーズにマッチした高意匠・高機能の商品開発に積極的に取り組むとともに、CS(顧客満足)の向上、業務効率の向上をより一層促進するため新基幹系システムを立ち上げました。また、原油価格をはじめとする資源価格の高騰に伴う原材料の値上げに対処するためグループをあげて生産効率の向上、コスト削減、経費削減に鋭意努めるとともに商品への価格転嫁を図りましたが、度重なる原材料の値上がりで完全に吸収するには至らず利益を圧迫することとなりました。

一方、中国におけるメラミン化粧板の需要増に対処する

ため、中国上海市に販売子会社「愛克樹脂貿易(上海)有限公司」を設立いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は100,737百万円(前連結会計年度比4.4%増)、経常利益は10,933百万円(前連結会計年度比0.4%減)、当期純利益は6,483百万円(前連結会計年度比5.8%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、原油価格や米国・中国の経済動向など先行き不透明な部分はあるものの、企業収益の改善に伴う民間需要に支えられ引き続き景気拡大基調が続くものと推測されます。

当社グループはこのような経営環境を十分認識し、市場ニーズを的確に捉えた「環境対応・高意匠・高機能商品」を追求し、ブランド力・商品力の強化、最適生産による収益力の向上、事業の効率化を図るとともに、カンパニー間のコラボレーション(協働作業)活動や素材連携を鋭意努めてまいります。また、生産性向上・原価低減の活動をグループ一体となって展開することで収益力の強化に向けた構造変革を推進し、原材料価格の高騰にも耐えうる企業体質づくりを進めてまいります。一方、中国事業においては、瀋陽市と昆山市の化成品生産会社に続き、昨年、上海市に設立した化粧板販売会社を拠点に中国市場の拡大に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月



代表取締役会長

富田章嗣



代表取締役社長

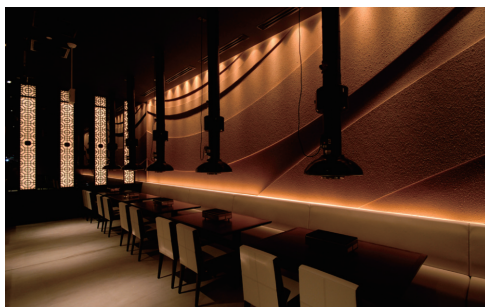
渡辺 修

化成系セグメント

接着剤系商品は、環境配慮型商品である超低VOC(揮発性有機化合物)品の水系タイプや弾性接着剤が、壁・床の内装仕上げ用として好評を博しました。また、合板・集成材用接着剤も売上げを拡大することができました。樹脂系商品は、天然の土やガラスビーズを使用した塗壁材「ジョリパット」や設備投資の増加に伴い塗床材「ジョリエース」は売上げを伸ばすことができました。しかし、土木関連商品は公共工事の減少により低迷いたしました。

なお、当セグメントは原油価格高騰に伴う石油化学製品の値上がりやその他原材料の値上がりの影響を大きく受けたため、生産性の向上、コスト削減、価格対応等を積極的に推進したものの、度重なる値上げを十分に吸収できず収益を圧迫いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は27,464百万円(前連結会計年度比1.6%増)となりました。



外装・内装仕上げ塗材
ジョリパット

物件名：焼肉茶房傳々
アーバンドック
ららぽーと豊洲店

設計：株式会社
神谷デザイン事務所

撮影：石橋マサヒロ
〈壁面への使用例〉

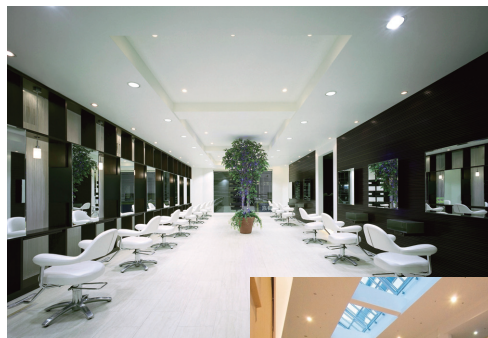


環境配慮型接着剤
Fフォースター(F☆☆☆☆)対応
アイエコエコボンド

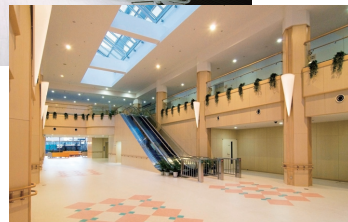
建築材セグメント

メラミン化粧板は、首都圏を中心とする大規模開発プロジェクトなど再開発が活発でオフィス需要が好調でした。また、「まちづくり三法」(大規模小売店舗立地法、中心市街地活性化法、都市計画法)の見直しに向けた大型ショッピングセンターの新店や改装、景気回復を反映した百貨店の積極的な改装など、商業施設に「アイカピュアコア」「アイカカラーコア」など木口意匠に特長のある商品が好評で、関連する「アイカピュアポリ」も高い評価をいただき売上げを伸ばすことができました。また、これらを使用した「アイカピュアコアブース」は高い質感が好評でオフィスビルや商業施設の新築、改修に採用され周辺商品とともに用途を広げ販路を拡大いたしました。壁装材商品については、天然の突板やメタル意匠を活かした不燃材が好評で、病院のホール壁などに多数採用され売上げを伸ばすことができました。

この結果、当セグメントの売上高は30,720百万円(前連結会計年度比4.4%増)となりました。



アイカラビアン
アイカラビアンポリ
〈店舗への使用例〉



アイカモアウッド不燃
アイカアール

物件名：東北労災病院
設計：株式会社梓設計
〈ホール壁面、曲面部分への使用例〉

住器建材セグメント

インテリア建材は、メラミン化粧板を使用した「メラフュージョンシリーズ」の高い意匠性が、首都圏を中心としたデベロッパやビルダーに好評で売上げを伸ばすことができましたが、主力の「マーレスシリーズ」は戸建住宅の価格競争の激化で苦戦いたしました。カウンターはR(曲面)スタイル(3次元木口対応)の意匠性や新しい用途提案が設計業者に評価され新規顧客を獲得するとともに、短納期対応が流通関連に浸透しリフォーム需要の取り込みも順調に進み売上げを伸ばすことができました。不燃化粧材「セラル」は野丁場(大型施設等)の大掛かりな工事)向けの新規意匠商品の投入と施工部材の充実、在庫店の完備で、住宅市場だけでなく学校・病院・オフィスビル等の野丁場市場やリフォーム市場でも加工性や意匠性を高く評価され売上げを大きく伸ばすことができました。

この結果、当セグメントの売上高は33,591百万円(前連結会計年度比4.6%増)となりました。



アイカセラル

名古屋駅「ルーセントアベニュー」
アーティスト：minim++
(天井・壁への使用例)

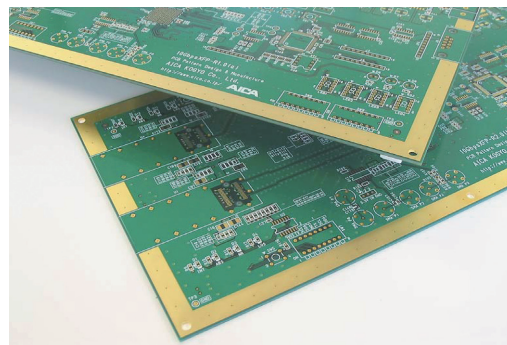


ポストフォームルーバー アイカカウンター

電子セグメント

プリント配線板は、高速伝送および電磁波障害対策分野に加え、新たに熱対策に関する提案を開始するなど試作開発へのサポートを強化することで高い評価を得るとともに、品質・コスト・納期を要求されるユーザーニーズに応えアイカブランドイメージの構築を進めてまいりました結果、情報通信、半導体関連などの分野を中心に高多層板の売上げを伸ばすことができました。また、電子材料は光学材料用の樹脂分野に注力し、携帯電話等に使用されるインサートフィルムで顧客認定を取得し売上げに繋げることができました。

この結果、当セグメントの売上高は7,046百万円(前連結会計年度比21.6%増)となりました。



アイカプリント配線板 (光モジュール搭載用高速基板)

その他セグメント

有機微粒子は、不採算のフッ素系の販売中止や海外の化粧品向けが苦戦しました。また、受託加工品の保存剤関係も低調でした。

この結果、当セグメントの売上高は1,915百万円(前連結会計年度比10.1%減)となりました。

内装用フィルム化粧材「Altyno(オルティノ)」

～小さな曲面に対応可能な高意匠化粧フィルム～

当社は、これまでメラミン化粧板、化粧合板、アイカセラールをはじめとする不燃材を提供してきました。その実績をもとに、よりリアルな質感と高意匠、さらに曲面や周辺の部材にまで色・柄の連動を追求して生まれたのが、新しい化粧材システム“オルティノ”です。「より美しく、より使いやすく」をテーマに、多方面のニーズにお応えします。

“オルティノ”の魅力は、メラミン化粧板、化粧合板など「化粧板」と同柄でのご使用が可能なこと。家具・什器や壁面、周辺部材までインテリアコーディネートができ、上質な空間を演出できます。



「第56回アイカ現代建築セミナー」

建築家によって次から次へとつくられる建築。それによって日々変わっていく都市景観。そこには、建築家のどんな思想的裏付けがあるのか、建築家は何を考え何を表現したいのか、その建築行為は、現代の都市に何をもたらすのか。その答えを建築家自らの言葉で聞いてみたい。「アイカ現代建築セミナー」はそんな思いで始まりました。昭和58年にポストモダンの先駆的体現者で世界的に知られたマイケル・グレイヴス(アメリカ)氏を迎えて以来、今年で足掛け25年になります。

第56回アイカ現代建築セミナーはラファエル・モネオ氏と槇文彦氏を招聘し、建築に対する思いを語っていただきます。

講師：ラファエル・モネオ(スペイン)×槇文彦

テーマ：デザインプロセスについて

東京会場：平成19年7月10日に「よみうりホール」

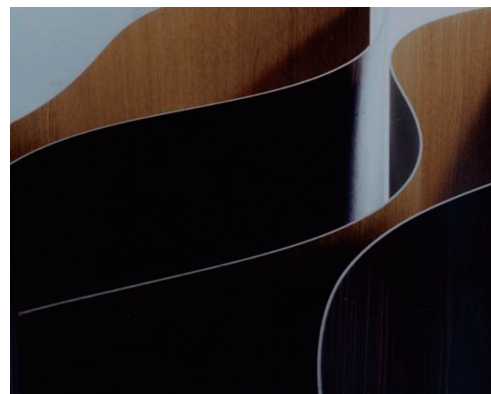
大阪会場：平成19年7月12日に「NHK大阪ホール」



抗菌メラミン不燃化粧板「アイカセラー曲面用」

～アイカセラーの特長を曲面に実現～

不燃化粧板「アイカセラー」は、キッチンやサニタリーの壁面といった住宅用途のほか、堅牢性や豊富な色・柄などを評価いただき、公共施設や医療福祉施設などのパブリックスペースの壁面に数多く採用されています。従来の不燃化粧板では「施工現場で曲げて貼る」ことは困難で、曲面部分は不燃下地を作成したうえでフィルムなど他の材料で仕上げを施さなければなりません。当社は、曲面下地にあっても現場施工が可能な「アイカセラー曲面用」を発売いたしました。

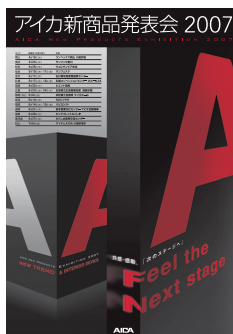


「アイカ新商品発表会2007」

当社のショールームを設置していない地域において、アイカ商品を「等身大の実物」で見えていただくための新商品発表会を平成16年から毎年開催し好評をいただいております。併せて、各界でご活躍のデザイナーによる講演会も開催しております。今年も下記日程で「アイカ新商品発表会2007」を実施いたします。

平成19年度
開催期間

平成19年4月19日～
平成19年7月6日



エリア	開催日(平成19年)	会場
岡山	4月19日(木)	コンベックス岡山
高松	4月24日(火)	サンメッセ香川
松本	4月26日(木)	ウェルサンピア松本
仙台	5月10日(木)・11日(金)	サンフェスタ
金沢	5月17日(木)	石川県地場産業振興センター
札幌	5月17日(木)・18日(金)	札幌コンベンションセンター
高崎	5月22日(火)	ビエント高崎
広島	5月23日(水)・24日(木)	広島県立広島産業会館
浜松	6月8日(金)	浜松商工会議所 マイカホール
新潟	6月14日(木)	NOCプラザ
福岡	6月14日(木)・15日(金)	パビオン24
盛岡	6月21日(木)	岩手産業文化センター アビオ
福島	6月26日(火)	ビッグバレットふくしま
鹿児島	6月27日(水)	かごしま県民交流センター
松山	7月6日(金)	アイテムえひめ

「第2回AICAジョリパット施工例コンテスト」

外装・内装仕上塗材「ジョリパット」を使用した施工例のコンテストを下記のとおり行いました。これは、建築施工技術の向上とインテリア・エクステリアのデザイン向上の一助となることを願い、始めたコンテストです。

対象作品

平成18年4月から平成19年3月までの期間に、ジョリパットを使用した作品(日本国内の建築)

応募期間

平成18年12月1日～
平成19年3月31日

審査結果

「新建築」および「商店建築」
平成19年7月号誌上に発表



連結決算

●連結貸借対照表

科 目	当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	61,215,021	59,401,700
現金および預金	14,802,801	17,334,537
受取手形および売掛金	38,792,290	35,292,926
たな卸資産	5,298,864	4,769,617
繰延税金資産	803,837	802,000
その他	1,537,066	1,232,851
貸倒引当金	△19,839	△30,232
固定資産	29,118,681	28,238,745
有形固定資産	16,369,213	16,013,446
建物および構築物	7,248,599	7,151,141
機械装置および運搬具	3,970,708	3,863,496
工具、器具および備品	1,178,128	983,441
土地	3,701,795	3,626,260
建設仮勘定	269,982	389,106
無形固定資産	2,539,773	2,409,462
その他	2,539,773	2,409,462
投資その他の資産	10,209,695	9,815,835
投資有価証券	8,677,201	8,473,750
長期貸付金	29,024	53,969
繰延税金資産	43,181	35,653
その他	1,469,697	1,277,623
貸倒引当金	△ 9,409	△ 25,161
資産合計	90,333,703	87,640,445

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (平成18年4月1日～ 平成19年3月31日)	前連結会計年度 (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,356,264	4,998,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,023,974	△ 3,415,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,860,371	△ 1,479,847
現金および現金同等物に係る換算差額	△3,653	41,387
現金および現金同等物の増減額	△ 2,531,735	145,128
現金および現金同等物の期首残高	17,334,537	17,189,408
現金および現金同等物の期末残高	14,802,801	17,334,537

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	23,879,501	25,309,252
支払手形および買掛金	17,762,831	15,964,533
短期借入金	416,885	3,508,245
未払法人税等	2,148,938	2,290,269
未払消費税等	79,403	182,987
賞与引当金	1,207,874	1,194,980
その他	2,263,568	2,168,235
固定負債	1,760,945	2,002,234
繰延税金負債	885,684	1,139,889
退職給付引当金	337,944	369,950
役員退職引当金	—	227,664
連結調整勘定	—	24,070
負ののれん	26,199	—
その他	511,117	240,659
負債合計	25,640,446	27,311,486

少数株主持分

少数株主持分	—	549,829
--------	---	---------

資本の部

資本金	—	9,891,708
資本剰余金	—	13,744,651
利益剰余金	—	36,390,156
その他有価証券評価差額金	—	2,640,842
為替換算調整勘定	—	25,255
自己株式	—	△ 2,913,485
資本合計	—	59,779,129
負債、少数株主持分および資本合計	—	87,640,445

純資産の部

株主資本	61,783,043	—
資本金	9,891,708	—
資本剰余金	13,744,789	—
利益剰余金	41,066,505	—
自己株式	△ 2,919,961	—
評価・換算差額等	2,305,953	—
その他有価証券評価差額金	2,273,557	—
繰延ヘッジ損益	△ 402	—
為替換算調整勘定	32,798	—
少数株主持分	604,260	—
純資産合計	64,693,256	—
負債および純資産合計	90,333,703	—

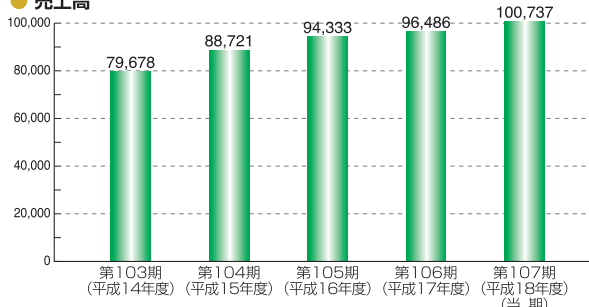
● 連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (平成18年4月1日～ 平成19年3月31日)	前連結会計年度 (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)
売上高	100,737,605	96,486,007
売上原価	73,020,862	69,511,951
売上総利益	27,716,742	26,974,055
販売費および一般管理費	16,966,459	16,073,858
営業利益	10,750,283	10,900,197
営業外収益	367,800	255,711
営業外費用	184,918	184,310
経常利益	10,933,165	10,971,598
特別利益	91,220	211,871
特別損失	291,880	704,442
税金等調整前当期純利益	10,732,504	10,479,027
法人税、住民税および事業税	4,177,188	4,373,481
法人税等調整額	△ 12,457	△ 110,853
少数株主利益	84,191	88,291
当期純利益	6,483,581	6,128,107

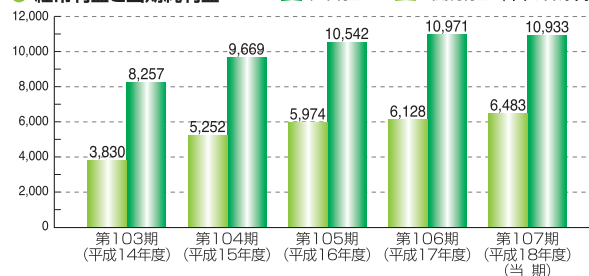
● 売上高

(単位:百万円)



● 経常利益と当期純利益

(単位:百万円)



● 連結株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:千円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	9,891,708	13,744,651	36,390,156	△2,913,485	57,113,031	2,640,842	—	25,255	2,666,097	549,829	60,328,959
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当(注)1			△1,726,133		△1,726,133						△1,726,133
役員賞与金(注)2			△81,100		△81,100						△81,100
当期純利益			6,483,581		6,483,581						6,483,581
自己株式の取得				△6,623	△6,623						△6,623
自己株式の処分		138		148	286						286
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額(純額)						△367,285	△402	7,543	△360,144	54,430	△305,713
連結会計年度中の変動額 合計	—	138	4,676,348	△6,475	4,670,011	△367,285	△402	7,543	△360,144	54,430	4,364,297
平成19年3月31日残高	9,891,708	13,744,789	41,066,505	△2,919,961	61,783,043	2,273,557	△402	32,798	2,305,953	604,260	64,693,256

(注)1 剰余金の配当は、第106期の利益処分および第107期の中間配当によるものであります。

2 役員賞与金は、第106期の利益処分によるものであります。

単独決算

●貸借対照表

(単位:千円)

科 目	第107期 (平成19年3月31日現在)	第106期 (平成18年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	56,557,793	54,816,445
現金および預金	12,989,267	15,730,361
受取手形	14,205,294	12,311,845
売掛金	23,732,617	21,919,665
たな卸資産	3,014,888	2,987,393
繰延税金資産	673,770	663,726
その他	1,961,521	1,234,600
貸倒引当金	△ 19,566	△ 31,148
固定資産	26,574,717	26,319,572
有形固定資産	11,336,187	11,858,546
建物	5,023,199	5,216,376
構築物	671,913	742,755
機械および装置	1,931,747	2,124,751
車輛運搬具	50,934	47,055
工具、器具および備品	993,735	812,075
土地	2,567,130	2,579,399
建設仮勘定	97,526	336,132
無形固定資産	2,445,250	2,357,883
ソフトウェア	2,361,130	334,845
ソフトウェア仮勘定	—	1,849,863
その他	84,120	173,175
投資その他の資産	12,793,279	12,103,142
投資有価証券	8,006,155	7,746,372
関係会社株式	3,147,218	3,147,218
その他	1,649,314	1,234,712
貸倒引当金	△ 9,409	△ 25,161
資産合計	83,132,511	81,136,017

科 目	第107期 (平成19年3月31日現在)	第106期 (平成18年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	21,761,424	23,242,815
支払手形および買掛金	17,083,624	15,512,456
短期借入金	—	2,750,000
未払法人税等	1,869,889	2,041,517
未払消費税等	49,404	165,389
賞与引当金	1,050,000	1,033,000
その他	1,708,506	1,740,451
固定負債	1,484,082	1,748,074
役員退職引当金	—	195,895
退職給付引当金	155,130	210,003
繰延税金負債	862,242	1,111,846
その他	466,710	230,329
負債合計	23,245,506	24,990,889

資本の部		
資本金	—	9,891,708
資本剰余金	—	13,752,782
利益剰余金	—	32,804,631
その他有価証券評価差額金	—	2,609,491
自己株式	—	△ 2,913,485
資本合計	—	56,145,127
負債および資本合計	—	81,136,017

純資産の部		
株主資本	57,626,522	—
資本金	9,891,708	—
資本剰余金	13,752,920	—
利益剰余金	36,901,854	—
自己株式	△ 2,919,961	—
評価・換算差額等	2,260,482	—
純資産合計	59,887,004	—
負債および純資産合計	83,132,511	—

(注) 会社法施行により新書式への表記統一とともに、必要な数値調整を行っております。

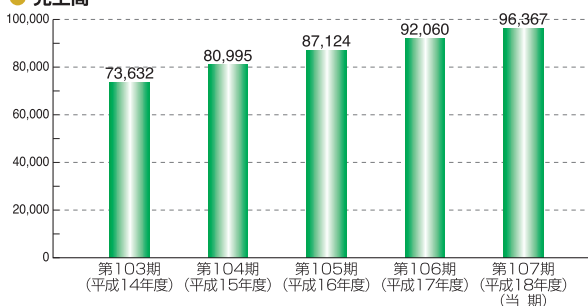
● 損益計算書

(単位:千円)

科 目	第107期 (平成18年4月1日～ 平成19年3月31日)	第106期 (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)
	売上高	96,367,108
売上原価	71,559,387	68,054,229
売上総利益	24,807,721	24,006,497
販売費および一般管理費	15,534,931	14,628,431
営業利益	9,272,789	9,378,066
営業外収益	556,929	478,474
営業外費用	141,989	155,722
経常利益	9,687,729	9,700,818
特別利益	69,491	192,467
特別損失	276,634	686,917
税引前当期純利益	9,480,586	9,206,368
法人税、住民税および事業税	3,610,000	3,750,000
法人税等調整額	△ 21,769	△ 50,585
当期純利益	5,892,356	5,506,953
前期繰越利益	—	10,775,964
中間配当額	—	730,332
合併に伴う子会社株式消却額	—	38,521
当期末処分利益	—	15,514,065

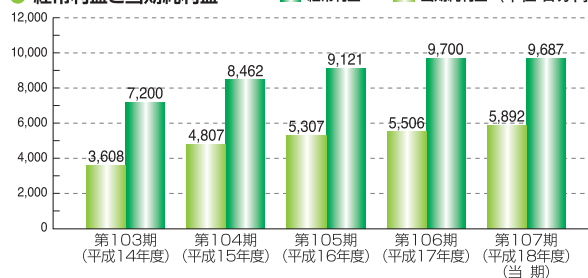
● 売上高

(単位:百万円)



● 経常利益と当期純利益

(単位:百万円)



● 株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:千円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益		評価・換算 差額等合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	その他利益 剰余金						
平成18年3月31日残高	9,891,708	13,277,609	475,172	1,622,876	31,181,754	△2,913,485	53,535,636	2,609,491	—	2,609,491	56,145,127
事業年度中の変動額											
剰余金の配当(注)1					△1,726,133		△1,726,133				△1,726,133
役員賞与金(注)2					△69,000		△69,000				△69,000
当期純利益					5,892,356		5,892,356				5,892,356
自己株式の取得						△6,623	△6,623				△6,623
自己株式の処分			138			148	286				286
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)								△348,606	△402	△349,009	△349,009
事業年度中の変動額合計	—	—	138	—	4,097,223	△6,475	4,090,885	△348,606	△402	△349,009	3,741,876
平成19年3月31日残高	9,891,708	13,277,609	475,310	1,622,876	35,278,977	△2,919,961	57,626,522	2,260,885	△402	2,260,482	59,887,004

(注)1 剰余金の配当は、第106期の利益処分および第107期の中間配当によるものであります。

2 役員賞与金は、第106期の利益処分によるものであります。

プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000[案内]
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万8,792円
- 事業所

[生産拠点] 本社工場(愛知県)

甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県)

広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県)

[開発拠点] R&Dセンター(愛知県)

R&Dセンター福島(福島県)

[営業拠点] 札幌支店(北海道) 静岡支店(静岡県)

仙台支店(宮城県) 金沢支店(石川県)

盛岡営業所(岩手県) 大阪支店(大阪府)

福島出張所(福島県) 神戸支店(兵庫県)

東京支店(東京都) 京滋営業所(京都府)

埼玉支店(埼玉県) 広島支店(広島県)

横浜支店(神奈川県) 岡山営業所(岡山県)

千葉営業所(千葉県) 高松支店(香川県)

宇都宮営業所(栃木県) 福岡支店(福岡県)

柏出張所(千葉県) 鹿児島営業所(鹿児島県)

北関東支店(群馬県) 関東支店(東京都)

新潟営業所(新潟県) 中部支店(愛知県)

松本営業所(長野県) 関西支店(大阪府)

名古屋支店(愛知県)

■主要製品

[化成品セグメント]

外装・内装仕上塗材、塗床材、塗壁材、各種接着剤など

[建装材セグメント]

メラミン化粧板、化粧合板など

[住器建材セグメント]

玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、不燃化粧材、収納扉など

[電子セグメント]

プリント配線板、電子システム商品、電子材料など

[その他セグメント]

有機微粒子、保存剤など

■連結子会社等

[会社名]	[所在地]	[主要な事業内容]
アイカインテリア工業株式会社	愛知県	住器建材製造
アイカハリマ工業株式会社	兵庫県	建装材・住器建材製造
アイカ電子株式会社	岐阜県	電子製品製造
ガンツ化成株式会社	大阪府	化成品・その他製造販売
アイカインドネシア社	インドネシア	化成品・建装材・住器建材製造販売
テクノウッド社	インドネシア	建装材製造

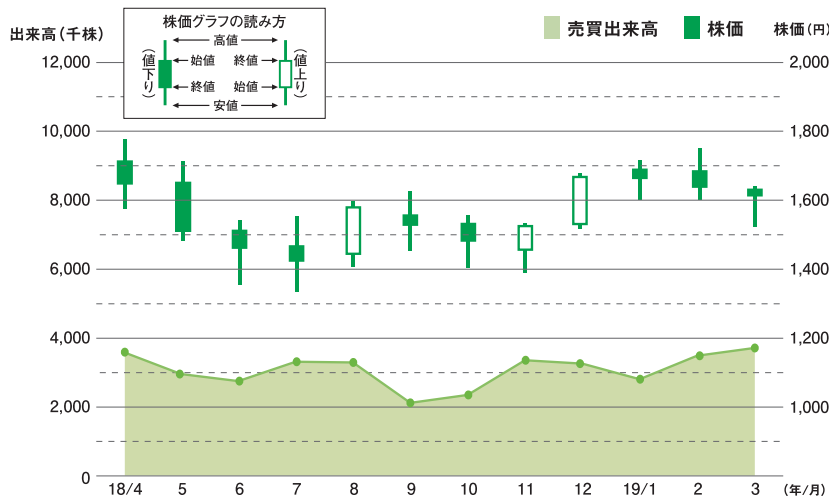
取締役・監査役および執行役員

〔代表取締役会長〕	富田 章嗣
〔代表取締役社長〕	渡辺 修
〔専務取締役〕	野田 近
〔常務取締役〕	佐治 一良
〔取締役〕	岩田 照徳
〔取締役〕	堀田 益之
〔取締役〕	森永 博之
〔取締役〕	伊東 善光
〔常勤監査役〕	深田 卓朗
〔常勤監査役〕	酒井 眞孝
○〔監査役〕	佐藤 純二
○〔監査役〕	福井 清晃
○〔監査役〕	浦部 康資
〔執行役員〕	岩瀬 幸廣
〔執行役員〕	相馬 治夫
〔執行役員〕	田中 彰
〔執行役員〕	小野 勇治
〔執行役員〕	岡田 賢児
〔執行役員〕	阿久根 善裕

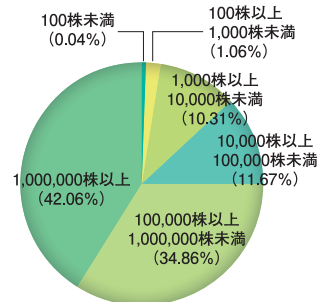
(注)○印は、社外監査役であります。

● 発行済株式の総数…69,890,664株 ● 株主数…7,711名

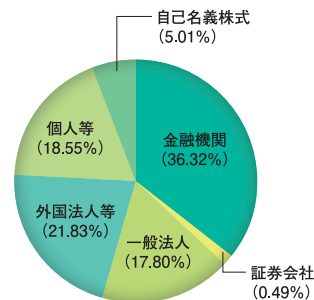
株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



[所有株数別株式分布状況]



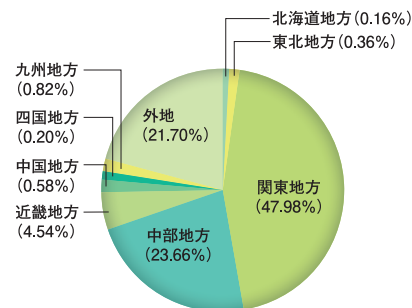
[所有者別株式分布状況]



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,756	8.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,320	5.00
東京海上日動火災保険株式会社	1,863	2.81
デクシア ビーアイエル プール ジュリアスベアー マルチパートナーマルチストック	1,731	2.61
ルクセンブルグオフショアジャスティックレンディングアカウント	1,645	2.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,478	2.23
アイカ工業取引先持株会	1,398	2.11
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,387	2.09
ザチェスマンハッパンバンクエヌイロンドシエエルオムニバスアカウント	1,359	2.05
住友生命保険相互会社	1,318	1.99

[地域別株式分布状況]



※当社は自己株式3,504千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

■ 事業年度	4月1日～翌年3月31日
■ 基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
■ 同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
■ 上場証券取引所	東京・名古屋
■ 公告掲載方法	公告掲載URL http://www.aica.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた 時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(お知らせ)

● 株式に関する手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、左記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットで24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話0120-244-479

〔三菱UFJ信託銀行本店証券代行部〕(通話料無料)

電話0120-648-479

〔三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部〕(通話料無料)

インターネットアドレス

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

住まい空間を演出する

AICA



環境にやさしい大豆インクを使用しています



再生紙が100%の再生紙を使用しています